



## 校長が考える学校経営の「一步先」を実現する



# 学校経営アクションプランを活用した学校づくり

新年度スタート！新たな体制のもと学校経営の第一歩を踏み出されたことと思います。校長先生方におかれましては、学校のビジョンを明確に示し、組織としての力を最大限に引き出す学校経営が求められます。そのためにもアクションプランを有効に活用した学校づくりをお願いします。

## アクションプランは学校の方向性を示す羅針盤 (ナビゲーションツール)



ベクトルを合わせチーム一丸となって取り組むためには、学校経営のビジョンと戦略（学校の目指していること）を教職員と共有することは、非常に大切です。その際、『なぜ、その子ども像なのか』『なぜ、それを目指さないといけないのか』という説明が必要です。目的の明確化により納得感と必要感を引き出していきます。練り上げた学校経営計画の中で、特に当該年度において重点をおきたいことに焦点をあて、行動計画を作成していきましょう。（手段の明確化）

新転任の校長先生方は、ビジョン、コアバリュー、パーパス、ミッション等について、前任の校長先生の思いをしっかり受け止めるとともに、「こんな学校にしたい！」という自分自身の思いやビジョンをもって、現時点でのアクションプラン（AP）を検討していきましょう。必要があれば付け加えや修正を行い、自分のものにするるとともに、その思いを教職員と共有し、ベクトルを合わせていきましょう。

第1号②には令和8年度津山教育事務所の方向性を示しています。文部科学省教育課程企画特別部会の論点整理を読み解き、実践にどう落とし込むのか、ともに挑戦していきましょう。

## まず自分のチームを知る

- ①学校の強みや弱みの把握
- ②強みの強化や弱みの補強、克服に向けた対策
- ③取組の焦点化・重点化（今年度の挑戦はこれ!）
- ④重点取組の共有、発信、実行

## 目的の明確化

「項目名」＝学校がやりたいことを設定  
 「重点目標」＝どのような児童生徒を目指す？  
 「達成指標」＝どうなれば重点目標達成？  
 「中間期（年度末）の値」＝目的の達成度

## 手段の明確化

「重点取組」＝目的達成のために何をする？  
 「取組指標」＝誰が、どのくらいの頻度で、どこまで、どのようにする？  
 「取組状況の分析・検証」＝手段の実行度。どのくらいできた？できなかった？それはなぜ？  
 「今後の取組」＝何をどのくらいする？

## アクションプラン作成に関わって

- 県義務教育課送付資料を参考にしてください
- 学校経営アクションプラン説明スライド
- 学校経営アクションプラン作成上の留意事項
- Adviser's Viewpoint 第9号・第11号



# 校長が考える学校経営の「一步先」を実現する

## 津山教育事務所 令和 8 年度の方向性

### 【全指導場面で】「子ども真ん中」発達支持的生徒指導を内在化

自己存在感の感受への配慮  
自己決定の場の提供

共感的な人間関係の育成  
安全・安心な風土の醸成



1\_ 単元を 学ぶ意義 と ゴールの姿

2\_ 目標達成に向け 焦点化 した単位時間ごとの 学習活動

を 児童生徒と共有 する

### 資質・能力の「一体的育成」を意識した授業づくり

【知識及び技能の習得】のポイント (例)

確実な習得 → 生きて働く力

導入 既有知 と 本時 の課題解決を 関連付ける  
☑ 掲示、発問等で既有知を活性化させている

展開 考えの 共通点 に着目し 一般化 する  
☑ 引き出した考えを一般化している

終末 他の場面 に 適用 させ 定着度 を 評価 する  
☑ 児童生徒の実態に応じた適用題に取り組みさせている

【思考力・判断力・表現力の育成】のポイント (例)

意欲向上 → 未知の状況に対応できる力

- ・ 児童生徒が課題を発見する
- ・ 解決に活用できる時間、道具・場所を明示
- 見通し の共有 (事実、方法、理由等視点を決めて)  
☑ 児童生徒が自力解決に取り組んでいる
- 見方・考え方 が働く工夫  
☑ 言語化、アイコン化等で見える化し、話し合い場面を設定して運用させている
- 付けたい力により、振り返りの スパン・回数 を工夫する  
☑ 振り返りで扱う力を明確にしている (認知、非認知等)

